

思い出と歩く双葉町

記憶の跡をたどる、散歩道。

大学生が集めた、町のかげらの記録

地図片手に、双葉の“余白”へ行ってみよう。

思い出と歩く双葉町

エピソードの分類

むかし … 震災以前のエピソード いま … 現在のエピソード

ずっと … 過去と現在どちらにも通じるエピソード

※エピソードを提供された方の詳細は、裏表紙をご覧ください。

長年親しまれたファストフード店

1 ペンギン (旧)

旧店舗 (現在は移転)

むかし

駅の目の前にあったため、高校生は電車の発車ベルを聞いてから駅へ猛ダッシュしていた

むかし

祖母から100円をもらってフローズをよく飲んでた

むかし

お好み焼きスティックが好きだった



2007年以前の写真

町民に愛されたファストフード。現在は産業交流センターで営業。かつて店のあった場所は現在イオン双葉店になっている。



●ブルーは震災以前にあった建物等 ●オレンジは2026年現在の建物等

地域住民に愛された町の中華・定食屋

2 大幸食堂

現在は閉業

むかし

好きなメニューは、なるとが入っているしょうゆラーメン。祖母の家にいる時によく出前を取っていた

むかし

塩ラーメンをよく食べていた

双葉高校生が電車の時間待ちに立ち寄った

3 渡部商店

現在は閉業

むかし

たい焼きを買って食べていた

ハンバーグや生姜焼き「まちの洋食屋さん」

4 キッチンたかさき

現在は閉業

むかし

エビピラフとハンバーグのセットが好きだった

2025年にオープンしたコーヒー焙煎所兼ドリンクスタンド

5 open roastery Alu.

いま

コーヒー飲みにくるよりおしゃべりに来てほしい!

新しい挑戦が交差する地域活動拠点

6 FUTAHOME

いま

チャレンジショップは子連れでも行きやすい場所

推定の樹齢1300年以上

7 前田の大杉

むかし

同級生とよく遊んでいた。昔は遊具がおいであった



今も昔も、変わらずそこにある

山 双葉町の山

ずっと

四季折々の匂い・音・色が感じられる

ずっと

西側の阿武隈の山並みは昔から変わらない。いつもホッとしたり気持ちになる





現在は立入禁止

北小の裏側にスケート場を作った

現在の駅前広場より北側でした

現在は新駅舎

電車に手を振った思い出

コミュニティスペースとして再開

震災の時まで駅として使っていた場所

誰でも使えるストリートピアノや、子どもが遊べる積み木や塗り絵があり、子どもたちは友だちと宿題を駅で一緒にやったり、駅前の広場で走りまわったりしている。

旧町民体育館跡地に3つの飲食店がオープン

旧町民体育館近くの橋あたりで
ザリガニをとった

歴代の相馬藩の藩主を祀るお社

子どものたまり場だった
境内で相撲をしていた

12年に1度のお祭りでは、神社前の
通りが人で賑わっていた（亥年）

七五三の写真を撮っている間、
千歳飴を食べられなくて泣いた

国旗が上がっているときは
私がいるので
遊びに来てください!



初發神社 (2007 年頃)

初發神社宮司
高倉さん



2010年頃の駅前通り

今も覗いたら落ちているかも...?

現在は閉業

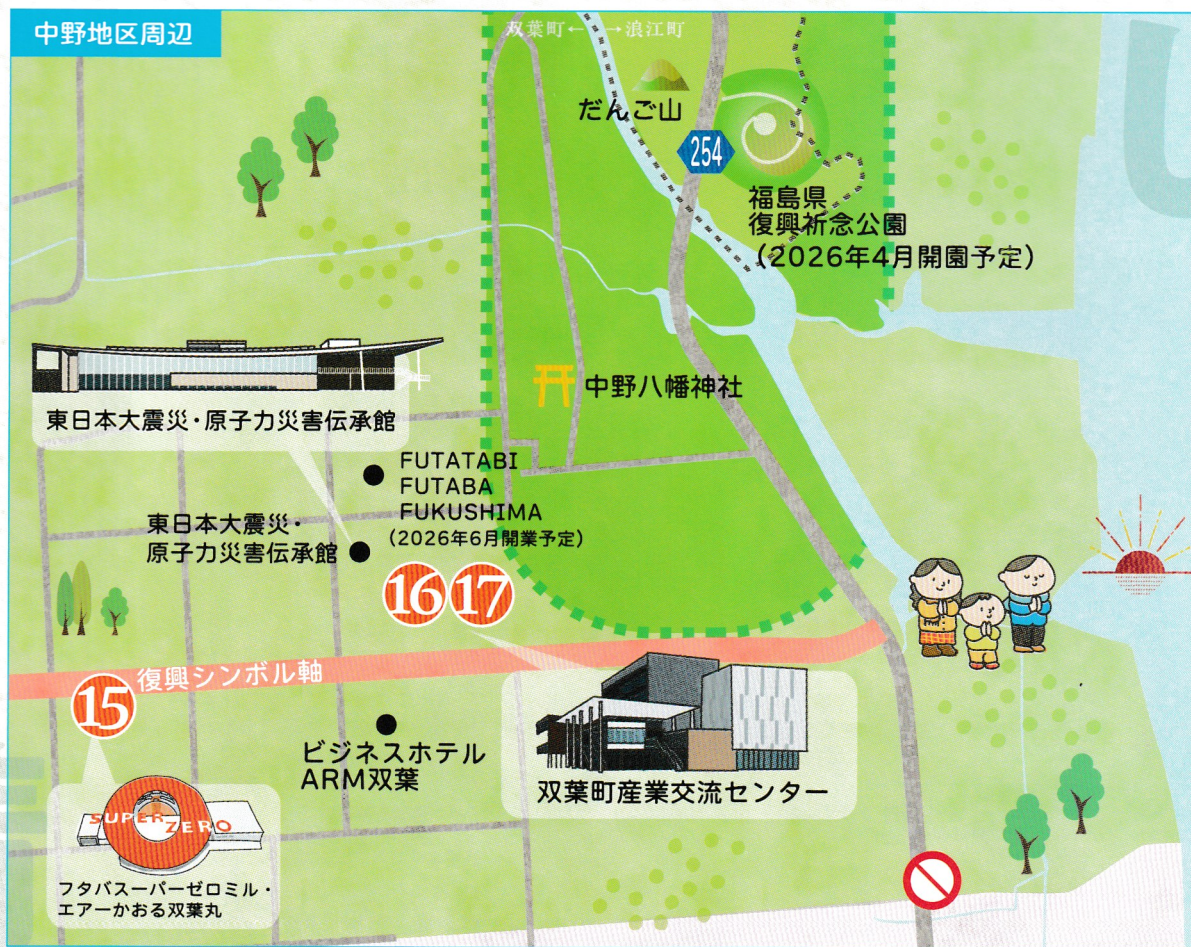
駄菓子屋と床屋の間にある側溝で
500円玉を落とした話を子どもとよ
くする

「新山の神楽」は江戸時代から続く伝統芸能

理科の時間に山に行った。雪がある日は段ボールそりで滑った

ホームな町癒し

中心の
距離が
近い
愛情



世界初の特許技術を用いた魔法の糸「SUPER ZERO®」

15 フタバスーパーゼロミル・エアかおる双葉丸

いま

2階中央デッキには全国から集まったメッセージが書かれていて、浅野社長のメッセージもあるので探してみて！

2020年双葉町民の“思い出の味”を復活

16 ペンギン (産業交流センター内)

いま

毎日のお弁当は常連さんの健康を考えて作っています

復興を牽引する中野地区の中核施設

17 双葉町産業交流センター

いま

屋上からは海も山も古い建物も新しい建物も田畑も見える。雲のある日は山に光が差していてすごくきれい

いま

屋上から海やスーパーゼロミルを一望できる

いま

2024年に1万発打ち上げる花火大会が開催された。またやってほしい

あの日、あの時。時代を超えて共にある

海 双葉町の海

むかし

きゅうりを海で冷やして食べた

むかし

初詣は海。年末から年明けにかけて頑張って起きたときは、初日の出を見た

むかし

友だちと自転車で行って遊んだ。海水浴の時期は人がすごくたくさんいた

ずっと

ヒグラシの声、潮の匂いが好き

いま

防波堤から見る景色が好き。嫌なことが吹っ飛ぶ

かつての双葉海水浴場



心が落ち着く場所



「思い出と歩く双葉町」マップについて

このプロジェクトは、環境省が若者世代と連携し、双葉町の復興と環境再生の歩みを県内外へ発信することで、地域の活性化に寄与することを目的としています。

テーマは「思い出と歩く双葉町」。双葉町にゆかりのある方々への取材を通して、震災を経て移り変わった思い出の風景と、現在の双葉町の姿を一つのマップにまとめました。

なお、取材協力者のインタビュー内容により、取り上げる地区に偏りが生じております。あらかじめご了承ください。

双葉への思いをつなぐプロジェクト

このマップの見方

このマップは、今の双葉町と、かつての双葉町の記憶が混ざり合う一枚です。地図の中には現在の町の姿だけでなく、震災前に親しまれていたお店や思い出も描かれています。

ぜひ、町の思い出とともに、足を止めてみてください。そして、目の前の風景の「今」と、その場所にあった「昔」の姿の両方に、そっと思いをはせる——そのきっかけとなることを願っています。

インタビューに協力して下さった皆さん



カフェ「open roastery Alu.」
店主

ふかさわ りょう
深澤 諒 さん

秋田県秋田市出身。旅好きで、高校時代に日本一周、大学時代に世界一周を経験。奥会津三島町の師匠から焙煎を学び、2022年、福島県檜葉町へ移住し、“のみのものをつくるひと”として活動を開始、浜通りのイベントを中心に出張バリスタとして活躍。2025年2月、双葉駅そばに焙煎所兼ドリンクスタンドを開業。

■店舗情報



open roastery Alu.

福島県双葉郡双葉町長塚字町45-1
営業時間：月曜日 6:00～13:00
水～日 10:00～18:00



一般社団法人ふたばプロジェクト

やまね みほこ
山根 光保子 さん

双葉町出身。2008年双葉町へUターン。2013年に双葉町復興支援員として活動し、2019年一般社団法人ふたばプロジェクト入社。町内視察案内、ガーデンプロジェクト、空き家空き地バンクを担当。3人娘を育てながら、穏やかな空気の中、日々前進する双葉町の暮らしを満喫中！



相馬妙見宮初發神社
宮司

たかくら ひろひさ
高倉 洋尚 さん

双葉町出身。町全体の避難指示が続く中、2015年末に氏子の皆さんと初發神社のしめ縄掛け替えを再開、その後、初發神社修復資金集めに奔走し、多くの協力を得て2019年末に社殿の修復工事が完了。現在は避難先のいわき市と双葉町を行き来しながら、双葉町の日常を見守っている。



ファストフード店「ペンギン」
マネージャー

やまもと あつこ
山本 敦子 さん

双葉町出身。1982年創業の母の店を2020年に産業交流センターで復活。震災で県外避難していたが、店をやるなら私しかいないと決心し帰郷した。現場の声に応えた弁当提供など、心の通う商売を大切にしている。明るく笑顔とボリュームなメニューで、お腹も心も満たされる場所。元音楽講師として町内イベント等で演奏も披露。

■店舗情報



ペンギン（双葉町産業交流センター内）

福島県双葉郡双葉町中野高田102

営業時間：10:00～16:00
定休日 第2・第4 土日
第1・第3・第5 木日



※施設情報は上記QRコードからご確認ください。



「双葉町結ぶ会」
共同代表

はせがわ くみこ
長谷川 久三子 さん

双葉町出身。英会話講師・通訳・グラフィックレコーダー、ビジネスホテルのマネージャー、未来会議事務局スタッフ、双葉町内の地域活動参画など多方面で活躍。双葉町や鹿児島で育ち、東京・大阪での勤務、2005年に双葉町、2009年にいわき市居住を経て、「いつかは町に」という思いを胸に2024年に双葉に帰還。人のつながりを大切に暮らしている。



浅野燃系株式会社

こやす ゆうか
子安 結愛華 さん

岐阜県出身。岐阜本社入社後、双葉事業所の開所に伴い福島県双葉町へ赴任。当初は1年契約の予定だったが、復興の最前線で働く環境と仕事のやりがいを感じ、契約延長を希望。現在は双葉勤務3年目。工場見学や視察の受け入れをはじめ、企画・広報業務を担当している。



浅野燃系株式会社

おかだ りおな
岡田 綾菜 さん

福島県南相馬市出身。5歳で東日本大震災を経験し、復興する故郷で育つ中で「地元に残り復興に携わりたい」と志す。地元高校卒業後、2024年に入社。現在はショップ部門のリーダーとして工場見学や視察対応など幅広い業務を担当。現場に立つ当事者として復興の歩みとものづくりの魅力を発信している。

■店舗情報



**Fukushima Futaba
KEY'S CAFÉ**

（フタバスーパーゼロミル 1F 内）

福島県双葉郡双葉町中野館ノ内1-1

営業時間：10:00～18:00

定休日 月

※施設情報は上記QRコードからご確認ください。

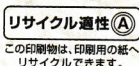
双葉への思いをつなぐプロジェクト

- 福島大学生 石寺 咲月 坂田 直香 永井 恵衣 鈴木 淳弘
黒澤 瑞季 飛田 千花 吉村 春輝
- 福島大学特任助教 久保田 彩乃
- 環境省福島地方環境事務所 ● 環境再生プラザ



本プロジェクトにより制作されたvlogを、
環境省公式Instagram「ドジョウのつぶやき@福島【環境省公式】」で公開中！

QRコードから公式Instagramへアクセス



この印刷物は、グリーン購入法に基づく基本方針における「印刷」に係る判断の基準にしたがい、印刷用の紙へのリサイクルに適した材料[Aランク]のみを用いて作製しています。



環境省

2026年3月発行